



加治丘陵だより

加治丘陵山林管理グループ

平成26年10月5日

第21号

NPO法人

加治丘陵山林管理グループ

E-mail iruma@npo-kajikyuryo.net URL http://npokajihozan.seesa.net/

新理事長に大山 博事務局長を選出

第12回通常総会開催

平成26年6月22日(日) 於 イルミシ

出席会員68名、委任状提出会員73名計141名で総会が成立し、山西素直副理事長の司会により開催された。議長には木崎芳雄会員、議事録署名人には小埜悌仁会員と中敷領郁代会員が指名された。来賓として友山宏一副市長、木下博前市長、永澤美恵子市議会副議長、須田英明市環境経済部長、大塚拓衆議院議員、斎藤正明県議会議員兼市商工会会長、鈴木俊太郎埼玉りそな銀行入間支店長がご臨席された。

山畠博理事長より事業報告と当グループの現況について説明があり、続いて山畠理事長と大山事務局長より第1号議案から第7号議案まで上程され、すべて円滑に承認された。特に今回は第5号議案の役員改選につき山畠博理事長の辞任と新理事長に大山博事務局長を推薦、また副理事長に平岡信治理事、さらに豊泉功・小田稠夫・浅見友治の3理事が退任し、新たに大垣敏夫・宮坂右二・池田捷利会員の3名が理事に就任する旨の提案あり、満場一致で承認された。

その後新旧理事長の挨拶と前理事長に対し、感謝状ならびに記念品と花束が贈呈された。続いてご来賓の方々の挨拶があり滞りなく閉会となった。



大山新理事長の挨拶



山畠前理事長に飯沼会員より花束贈呈

講演会の開催

講師 公益社団法人危機管理協会本部事務局長 奥野幸範先生

[プロフィール] 昭和29年福井県生れ、現在所沢市に居住。昭和48年航空自衛隊入隊、主に航空管制職勤務、平成21年退官、現在に至る。 趣味はジョギング、音楽鑑賞など。お酒少々。

[テーマ] 「首都直下地震発生あなたは生き抜けますか?」

[要旨] 東日本大震災の発生に伴い危機管理が随所で取り上げられるようになってきている。30年以内に首都圏を含む南関東でM7級の大地震が起る確率は70%と言われている。その時の死者は23,000人と推定されるが、災害に対する知識と備えがあれば少なくともその1/3には抑えられる。

入間市のハザードマップなどを確認し、自宅での備蓄は出来れば1週間分は欲しい。また日ごろから非常時には、いかにして自分の命を守るかに留意して行動するとともに、時には「家族防災会議」を開いて、避難場所や安否確認の方法などを話し合っておくことが肝要です。



懇親会の開催

於、市民会館内「フローレンス」

総会・講演会終了後、午後3時30分より開催、総会出席のご来賓各位をはじめ多数の会員が参加、計60名が出席。賛助会員の宮寺会計事務所の税理士・宮寺成人所長の乾杯により始まり、それぞれ和やかに歓談、早乙女昌代・大和田美枝子・鈴木千代の3会員による「かっぽれ」などもあり、盛会のうちに5時30分散会となった。

理事長就任の挨拶

大山 博



謹啓 時下益々のご清栄を心からお慶び申し上げます。

さて、このたび山畠博前理事長から引継ぎ、平成26年3月17日の理事会にてご承認を受け、第12回通常総会でのご決議を得て第4代理事長に就任いたしました。

入間市との協働を基礎に、大きな組織をガラス張りで運営し、ゆっくり、あせらず、楽しく、そして、あらゆる活動を通じ、多くの会員同士の親睦を重視して、安全第一をモットーに推進してまいります。

本年度は創立12年目にあたり、ますますの業容拡大に寄与すべく微力ながら努めてまいります。

今後とも前理事長同様ご支援、ご指導、ご協力のほどをお願いして就任のご挨拶申しあげます。

理事長退任の挨拶

山畠 博



私議、2年間の任期満了のため、このたび理事長を退任することになりました。長い間大変お世話になりましたがどうございました。

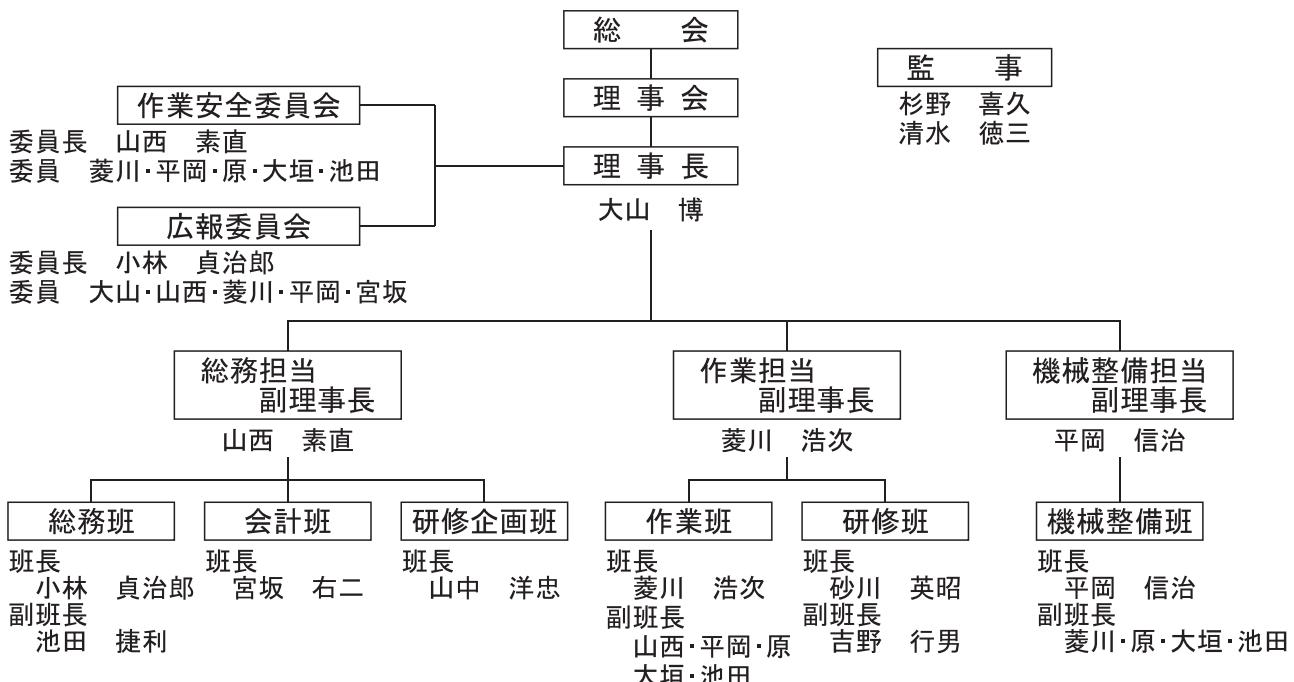
振り返れば平成14年、任意団体での活動開始、翌年の3月に埼玉県知事から認証を受けNPO法人を設立しました。初代の小沢盛久理事長から平成19年6月第2代清水徳三理事長へ引き継がれ、平成24年4月より第3代の理事長として、各位のご支援、ご指導により努めてまいりました。

現在、正会員180名にとどく組織となり、入間市との協働によって、業績も順調に推移して、事故もなく無事今日を迎えたのも各位のご支援、ご協力の賜と深く感謝しております。

今後も、グループの発展に絶大なるご尽力を賜りますようお願いして退任のご挨拶とします。

新 組 織 図

平成26年6月22日現在



平成26年度作業状況報告

副理事長・作業班長 菱川浩次

上期実績：作業日数67日、作業参加者延約700人

- ① 下草刈り 73,944m²：山仕事の広場は4回実施、コミュニティ広場として良好状態を維持。
- ② 伐採353本：主に堂庭地区、探検の森付近は大変明るくなりその間伐材は次期の階段用として保管。
- ③ 階段160段長さ80m：裏山中1号地、急坂で滑りやすい遊歩道が安全に通行出来るようになった。
- ④ 構造（9m）1本：上記遊歩道にあり老朽化して危険なため、撤去して新設。

下期予定

下草刈り：32,000m²、階段約200段（大日向地区）。その他自然災害発生時などの臨時作業もあり。新入会員なども増えており、安全第一に下期もよろしくご協力お願いします。



グループ活動に参加して

会員No.412 長谷川 謙



千葉の館山生まれ東京育ちです。昨年度の第一回「いるまを元氣にする人材塾」の活動体験を通じこのグループと出会い、今年の一月末より参加させていただいています。

フリーになったら「自然」「地域社会」「社会還元」のキーワードで何か活動ができればと思っていましたので、この活動はぴったりでした。加治丘陵は思っていた以上に広く、四季の自然を感じさせてくれます。始めて間もない私には、多才な先輩諸氏のご指導をいただきながら、いろいろな現場で作業できることが新鮮で楽しめます。

会員No.414 橋本喜代治



私は加治丘陵と地続きの飯能市の加治地区（昔の加治村）で生まれ育ちました。

約10年位前から何度もこの桜山展望台の周辺を地元のウォーキング会で利用させていただきました。今思えばその頃より少し前から、ここを皆さんのが整備されておられたとは、今更ながらとても身近に感じ、又不思議なご縁だと思っています。

夏休みに孫達を連れて飯能市の多峯主山に登ったが、山頂より南東方面を眺めると濃い緑に覆われた加治丘陵を一望することができました。この素晴らしい丘陵を多くの人々に親しんでいただけるようにこれからも良い汗を流していきたいと思っています。

新入会員ご紹介

会員番号 氏名(敬称略) 9月20日入会まで

427 土田 一学	428 向野 康宏
429 渡邊 京子	430 中川 滋
431 中澤 優介	432 門田 英雄

入会のお説明

=会員になって活動を支えて下さい。=

- 我々はボランティアで活動しています。
- 177名の会員が汗を流して頑張っています。
- 年会費 正会員(個人) 2,000円
賛助会員(会社又は団体) 1口10,000円
- 加入連絡先 04-2932-4515 (大山 博)

森林視察研修

9月7日(日) 多摩方面

例年通り大型バス利用、41名参加。雨もようの中、最初は八王子の武蔵野陵墓を訪問し、昭和天皇陵を始めとする各御陵に謹んで参拝。次に独立行政法人森林研究所多摩森林科学園を訪れたが、ここはサクラ保存林や武蔵野林野の樹木園として著名。会員各位は研修班の説明案内のあと、園内を散策。森の科学館では林野と日本鹿の保存育成の特別展が併催されており認識を新たにした。その後、高尾山口の「栄茶屋」にて懇親の席を囲み、会員相互の和やかな談笑で楽しいひと時を過ごし、銳気を養い、今後の諸活動に活躍することを誓って、全員無事に帰着した。

(理事・研修班班長 砂川英昭)

イベント報告

●第3回いるま環境フェア 6月15日(日)産業文化センター

47グループが参加。当グループも作業写真16枚、「幸せを呼ぶふくろう」など展示してPR。



16枚の展示写真に注目を集めます

●親子カブト虫捕り大会 7月13日(日)

子供43人、大人40人参加。昨年同様お土産用にオスメス各50匹ほど用意しておいたので子供たちは大喜びで持ち帰った。



大きなオスのカブト虫をゲット

●暑払い(納涼花火の夕べ) 7月23日(水) 彩の森公園

31名参加。夕刻より池のほとりで車座になり長時間、歓談して懇親を深めた。今年は夕立もなく花火も盛大で納涼を満喫した。

お知らせ

◆入間万燈まつり 10月25日(土)・26日(日)

出店場所: 茶の花通り N0.131 (入間向陽高校と自衛隊基地の間)

例年のように好評の生イカの炭火焼きほか販売します。会員の家族友人お誘い合わせのうえ是非ともお立ち寄りください。(実行委員: 砂川・吉野・池田・大垣)

◆アミーゴ秋まつり 10月12日(日)・13日(月・祝)

「幸せを呼ぶふくろう」ほか出展販売予定。(実行委員: 安部)

◆第13回楽山ゴルフ会 11月7日(金) 美里ロイヤルゴルフクラブ

初めての開催場所ですが多数の参加を希望します。詳細案内書どおり(幹事: 清水・向山・小林)

◆忘年会 12月初旬 予定

～編集後記～ 4代目の理事長に大山さんが就任しました。大山さんは発足当初から事務局長としてグループの運営を一手に担って来て、まさになるべくしてなられた最も理事長に相応しい人物です。当然、本誌の編集委員も初回から携わってこられました。今回の役員人事改選に伴い、前掲の組織表のよう当編集委員に新たに平岡・宮坂両委員が加わることになりましたのでよろしくお願ひします。また、退任される山畠・小田両委員には大変お世話になりましたこと感謝します。

(編集委員長 小林貞治郎)

発行責任者: 大山 博 〒358-0053 入間市大字仏子1397-3 ☎ 04-2932-4515